

船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーン最適化検討委員会
成果報告セミナー

船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーンの パネルディスカッション

パネリスト 船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーン最適化検討委員会メンバー
篠田委員長、赤島委員（日本造船工業会）、
谷川委員（日本中小型造船工業会）、廣瀬委員（日本船用工業会）
今井船舶産業課長（国土交通省）

モデレータ アクセンチュア 清水氏

パネルディスカッションのテーマ

□ テーマ1

- サプライチェーン最適化の5つの実証事業の今後の展開への期待

□ テーマ2

- 船舶産業のデジタルトランスフォーメーションの実現に向けて

テーマ1 サプライチェーン最適化の5つの実証事業の今後の展開への期待

ロ ポイント

➤ 令和5年度事業のテーマ

	令和3年度	令和4年度	令和5年度のテーマ案
商流環境の改善	舶用機器の仕様標準化 (5品目) 造－舶間情報共有サイトの検討	(10品目)	更なる品目の標準化 造－舶間情報共有サイト構築
物流環境の改善	共同物流・物品管理の検証		共同物流・物品管理の課題解決 (ICタグ等の活用)
生産環境の改善	造船－舶用間における生産情報の共有 (造→舶)	(舶→造)	実用化・普及フェーズ
設計情報の連携	3D CAD設計情報の変換 (GRADE/HULL→AVEVA Marine)		実用化・普及フェーズ
試験情報の連携	海上試運転のリモート化	試験情報共有サイトの検討	船上計測の課題解決 試験情報共有サイト構築
データ連携高度化	高度なデータ連携の方向性検討		高度なデータ連携手法の具体化 (BOM, MES, PLM, ERP)

BOM (Bill Of Materials), MES (Manufacturing Execution System),
 PLM (Product Lifecycle Management), ERP (Enterprise Resources Planning)

テーマ2 船舶産業のデジタルトランスフォーメーションに向けて

ロ ポイント

- DX活用の目的・価値（人材、コスト、効率化、バリューチェーンなど）
- 船舶産業DXの将来イメージ（フロントローディングなど）
- DX実現に向け国・産業界が取り組むべきこと（協調・競争領域など）

<p>デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation)</p> <p>組織横断/全体の業務・製造プロセスのデジタル化、 “顧客起点の価値創出”のための事業やビジネスモデルの変革</p>	<p>事業所の組織間・複数事業者間の高度データ連携による ビジネスの付加価値化・新ビジネス創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人・モノ・金の事業所の経営資源の管理（ERP） ➤ サプライヤーも巻き込んだデータ連携（グローバルPLM・ライフサイクル製品データ（BOM））など
<p>デジタライゼーション (Digitalization)</p> <p>個別の業務・製造プロセスのデジタル化</p>	<p>データ活用によるビジネスプロセスの変革</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 3D設計・AI・フロントローディング・デジタルツイン等の新技術によるプロセス高度化（MES） ➤ 製品情報のデータ化（BOM）・プロセス情報のデータ化（BOP）とプロセス管理（PLM）
<p>デジタイゼーション (Digitization)</p> <p>アナログ・物理データのデジタルデータ化</p>	<p>アナログからデジタルへの移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 手作業の自動化 ➤ ペーパーレス化 ➤ 図面の電子化、CAD設計など

3段階のデジタル化・DX構造（経済産業省DXレポート）

